

2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 白洋舎
コード番号 9731 URL <https://www.hakuyosha.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)五十嵐 瑛一
問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)丹羽 義己
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(TEL)03(5732)5111

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	9,391	1.9	△290	—	△263	—	△187	—
2023年12月期第1四半期	9,213	16.0	△274	—	△273	—	△284	—

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 △66百万円 (—%) 2023年12月期第1四半期 △307百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	△49.61	—
2023年12月期第1四半期	△75.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	33,815	8,214	24.1
2023年12月期	33,154	8,370	25.1

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 8,161百万円 2023年12月期 8,316百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,900	△0.9	1,900	4.6	2,150	0.0	1,600	△17.7	423.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期1Q	3,900,000株	2023年12月期	3,900,000株
2024年12月期1Q	120,556株	2023年12月期	120,447株
2024年12月期1Q	3,779,498株	2023年12月期1Q	3,776,810株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年1月1日～3月31日)におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大等を背景に活性化の動きが見られた一方、不安定な国際情勢や物価上昇等を背景とする景気の下振れリスクも見られる等、先行き不透明な状況が続きました。

こうした状況下、当社グループにおいては、2024年より新たな中期経営計画(2026年までの3ヶ年)をスタートさせており、「構造改革の完遂」「オペレーションの磨き上げ」「マーケティングによる収益力向上」「事業ポートフォリオの最適化」を基本方針に掲げ、事業を通じた社会課題の解決と、持続的な成長軌道の確立を目指しております。

当社グループの第1四半期連結累計期間における業績は、季節的要因から例年低位に推移する傾向にあり、売上高は93億9千1百万円(前年同四半期比1.9%増)、営業損失は2億9千万円(前年同四半期は営業損失2億7千4百万円)、経常損失は2億6千3百万円(前年同四半期は経常損失2億7千3百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失については、1億8千7百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億8千4百万円)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間期首において、当社の連結子会社であるHakuyosha International, Inc. が、同じく当社の連結子会社であったDust-Tex Honolulu, Inc. を吸収合併したことにより、管理区分の見直しを行っております。これに伴い従来「クリーニング」として区分しておりましたHakuyosha International, Inc. の財務情報は「レンタル」に含めております。前年同四半期の業績についても、同様の組み替えを行った上で当期業績との比較を行っております。

<クリーニング>

クリーニング事業は、一般のお客さまより、衣類のほか、ふとん、じゅうたん、カーテン等のご家庭用アイテム等をお預かりし、クリーニングを行う個人向け事業です。直営およびフランチャイズの店舗に加え、クリーニングに関する知識を持った自社スタッフであるCLP(クリーン・リビング・パートナー)がお客さまのご自宅までお伺いする集配サービスや、宅配便を用いてお預かりとご返送を行う「らくらく宅配便」等の複数の営業窓口を展開し、全国のお客さまからのライフスタイルに合わせたご利用にお応えしております。

当事業においては、服装のカジュアル化や在宅勤務の普及等を背景に、中長期的に需要が低下する傾向にあります。こうした状況を受け、当社グループでは、不採算店舗の閉鎖等の構造改革の完遂に向けて取り組むとともに、商圈毎の特性に合わせた出退店やリソースシフトを推進し、収益性の向上を図っております。

クリーニング事業の第1四半期連結累計期間における業績は、季節的要因から例年低位に推移する傾向にあります。当第1四半期連結累計期間におけるクリーニング事業の売上高は、天候不順により、冬物衣料の衣替えに遅れが見られたこと等により、28億4千万円(前年同四半期比8.1%減)となり、セグメント損失(営業損失)は、不採算店舗の閉鎖計画の進捗により、賃借料等、直営店舗の運営に関わる経費を圧縮したものの、売上高が減少したことから、4億6千3百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)3億9千3百万円)となりました。

<レンタル>

レンタル事業は、当社グループの保有するリネン品やユニフォームをお客さまにクリーニング付きでレンタルする法人向け事業です。主にホテル・レストラン等のリネン品を取り扱うリネンサプライ部門と、コンビニエンスストアや外食産業、食品工場等のユニフォームを取り扱うユニフォームレンタル部門の2つの部門があり、お客さまのご要望に合わせたレンタル品のデザインや開発、クリーニング、在庫管理、集荷・配送等を総合的に手掛けております。

当事業は、政府の観光立国化政策を背景とするインバウンド需要の拡大や、HACCP(食品衛生管理の世界標準)の義務化等を背景とする安全衛生意識の高まり等から、市場の活性化が進む傾向にあります。こうした状況を受け、需要の取り込みに向けた営業体制・生産体制の整備を推進するとともに、リネンサプライ部門においては、収益性の改善に向けた価格戦略や工場経費の適正管理を、ユニフォームレンタル部門においては、より環境に配慮したユニフォームといった高付加価値商材の開発・提案等の差別化戦略を進めております。

レンタル事業の売上高は、得意先ホテルの堅調な稼働に加え、諸経費の高騰を受けて取引価格への転嫁(料金改

定)を進めたこと等により、63億7百万円(前年同四半期比6.9%増)となり、セグメント利益(営業利益)は、外注費や集配車両費の上昇はあったものの、5億6千8百万円(前年同四半期比13.4%増)となりました。

<不動産>

不動産事業では、不動産の賃貸および管理を行っております。

不動産事業の売上高は1億2千万円(前年同四半期比0.7%減)、セグメント利益(営業利益)は1億円(前年同四半期比3.0%増)となりました。

<物品販売>

物品販売事業では、クリーニング業務用の機械・資材や、ユニフォーム等の販売を行っております。

物品販売事業の売上高は1億2千2百万円(前年同四半期比21.9%増)、セグメント利益(営業利益)は2千4百万円(前年同四半期比9.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億6千1百万円増加し、338億1千5百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加4億2千7百万円等により3億5千万円増加し、119億9千7百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の増加3億2千9百万円等により3億1千万円増加し、218億1千8百万円となりました。

また、流動負債は、支払手形及び買掛金の減少4億4千4百万円、短期借入金の増加2億7千6百万円等により1千6百万円減少し、121億6千8百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の増加9億4千5百万円等により8億3千4百万円増加し、134億3千2百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少2億8千4百万円等により1億5千6百万円減少し、82億1千4百万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末の25.1%から24.1%へ減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日に発表いたしました2024年12月期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,429	1,857
受取手形及び売掛金	4,259	4,179
棚卸資産	5,194	5,273
その他	808	730
貸倒引当金	△46	△44
流動資産合計	11,646	11,997
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,838	20,800
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,516	△15,468
建物及び構築物(純額)	5,321	5,331
機械装置及び運搬具	10,302	10,121
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,460	△8,272
機械装置及び運搬具(純額)	1,841	1,848
土地	6,207	6,207
リース資産	3,955	4,012
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,068	△3,114
リース資産(純額)	887	898
その他	1,413	1,380
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,297	△1,266
その他(純額)	116	113
有形固定資産合計	14,374	14,399
無形固定資産	408	406
投資その他の資産		
投資有価証券	2,710	3,040
差入保証金	894	871
繰延税金資産	2,128	2,091
退職給付に係る資産	964	981
その他	131	131
貸倒引当金	△103	△103
投資その他の資産合計	6,725	7,012
固定資産合計	21,508	21,818
資産合計	33,154	33,815

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,992	2,548
短期借入金	3,347	3,624
1年内返済予定の長期借入金	3,017	2,965
未払法人税等	20	57
賞与引当金	186	357
その他の引当金	26	32
その他	2,593	2,583
流動負債合計	12,185	12,168
固定負債		
長期借入金	5,602	6,547
役員退職慰労引当金	25	26
役員株式給付引当金	127	132
環境対策引当金	73	72
退職給付に係る負債	3,939	3,896
資産除去債務	491	466
その他	2,337	2,289
固定負債合計	12,598	13,432
負債合計	24,783	25,601
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	1,567	1,567
利益剰余金	3,416	3,131
自己株式	△358	△358
株主資本合計	7,036	6,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	750	953
為替換算調整勘定	69	13
退職給付に係る調整累計額	460	443
その他の包括利益累計額合計	1,280	1,410
非支配株主持分	54	53
純資産合計	8,370	8,214
負債純資産合計	33,154	33,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	9,213	9,391
売上原価	8,327	8,571
売上総利益	885	819
販売費及び一般管理費	1,160	1,109
営業損失(△)	△274	△290
営業外収益		
受取配当金	3	4
受取補償金	16	21
持分法による投資利益	1	18
雇用調整助成金	6	-
その他	71	44
営業外収益合計	99	88
営業外費用		
支払利息	42	45
シンジケートローン手数料	0	0
為替差損	46	11
その他	8	3
営業外費用合計	98	61
経常損失(△)	△273	△263
特別損失		
固定資産処分損	34	6
減損損失	88	-
特別損失合計	123	6
税金等調整前四半期純損失(△)	△396	△269
法人税、住民税及び事業税	34	36
法人税等調整額	△143	△121
法人税等合計	△108	△85
四半期純損失(△)	△288	△184
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△284	△187

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純損失(△)	△288	△184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	203
為替換算調整勘定	△10	△86
退職給付に係る調整額	△11	△16
持分法適用会社に対する持分相当額	25	18
その他の包括利益合計	△19	117
四半期包括利益	△307	△66
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△302	△57
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (注1) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) (百万円)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	物品販売 (百万円)			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	3,091	5,899	—	100	9,091	—	9,091
その他の収益	—	—	121	—	121	—	121
外部顧客への売上高	3,091	5,899	121	100	9,213	—	9,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	125	3	20	369	520	△520	—
計	3,217	5,903	142	470	9,733	△520	9,213
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△393	501	97	27	232	△506	△274

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△506百万円には、セグメント間消去15百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△522百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント				合計 (百万円)	調整額 (注1) (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) (百万円)
	クリーニング (百万円)	レンタル (百万円)	不動産 (百万円)	物品販売 (百万円)			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	2,840	6,307	—	122	9,270	—	9,270
その他の収益	—	—	120	—	120	—	120
外部顧客への売上高	2,840	6,307	120	122	9,391	—	9,391
セグメント間の内部 売上高又は振替高	160	3	17	375	557	△557	—
計	3,001	6,310	138	498	9,948	△557	9,391
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△463	568	100	24	229	△520	△290

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△520百万円には、セグメント間消去10百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△531百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間期首において、当社の連結子会社であるHakuyosha International, Inc. が、同じく当社の連結子会社であったDust-Tex Honolulu, Inc. を吸収合併したことにより、管理区分の見直しを行っております。これに伴い従来「クリーニング」として区分しておりましたHakuyosha International, Inc. の財務情報は「レンタル」に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。